品川第一地区　地域ニュース　第153号

品川宿

令和6年2月20日発行
品川第一地域センター
TEL 3450-2000
FAX 3450-2026

既刊＆カラー版はWEBで！

子育地蔵尊を観に行こう！

皆さんは『子育地蔵』をご存知ですか？都内には数多くの『子育地蔵』がありますが、その中で北品川の『子育地蔵』を、北品川二丁目町会の金子会長に案内していただいたのでその様子をお伝えします！

実は、この『子育地蔵』は赤子を抱いている珍しいお地蔵さんで、大正10年7月から現在までずっと同じ場所で私たちを見守っています。当時は目黒川がこのお地蔵さんがいる場所の近くを流れており、台風が来るたびに氾濫して子どもが亡くなったことから、供養として多くの方の寄付のもと建立されたそうです。今でもたくさんの折鶴と、お花が飾られています。ぜひ、皆さんも春のお花見と一緒に『子育地蔵』を訪れてみてください。

赤子を抱く地蔵尊

金子会長と地蔵尊

所在地はこちら！

品川蕪（かぶ）通信 Vol.2

Vol.1はこちら

品川第一地区の年末の風物詩である品川蕪品評会が令和5年12月24日(日)に第10回記念大会として開催されました！この日は快晴に恵まれ、一流シャンソン(※)歌手の美声に聞き惚れたり、和太鼓の力強さに圧倒されたり、振る舞われた品川汁や江戸野菜に舌鼓したりして盛りだくさんでした！ ※フランスの流行歌

また、品川蕪品評会の出品数も前年に比べ多く、森澤区長を含む審査員は素晴らしい出来栄えに選定にも時間がかかっている様子でした。そんななか、入賞に輝いたのは、3位灰田様(個人)、2位大田区立出雲小学校、特別奨励賞品川学園、1位台場小学校でした。どの参加者たちも水やりを欠かさず行い、大切に育てたそうで、作物を「育てる」ことでとりわけ子どもたちが「生きる」ことそのものを学んでいるのだと実感しました。

未来に向かって走りぬく！第13回東海道駅伝マラソン大会 ～令和5年11月26日(日)実施～

この日はあいにくの雨模様でしたが寒さを吹き飛ばす、晴れやかな笑顔で、スタートを心待ちにしている生徒たちの姿がありました。「位置について、よ～い、パーン！」の合図とともに、駆け抜ける姿はいつ見ても爽快です。そんな元気いっぱいの品川っ子たちの様子をレポートします！

はじめはマラソン大会。4年生から6年生が学年の枠を超えて約1500メートルを一斉に駆け抜けます。大差をつけて1位になった生徒や、最初は順調に走れていたけれど、失速してしまい悔しい結果になってしまった生徒などがいましたが、沢山の声援を受けながら見事にゴール！

続いて、学年ごとの駅伝大会。緊張している様子の第一走者は、みんなの温かいエールを背に受け、走り出しました。雨の影響で地面が滑りやすく、バトンをつなぐときに転倒してしまう生徒や、失速する生徒がいましたが、どの生徒も一生懸命に駆け抜ける姿に心を奪われました。最後のゴール時には先生をはじめ、たくさんの生徒たちがアンカーを出迎え、抱きしめる姿を見たときは、とても胸が熱くなりました。

実行委員長の山崎要さんは「一人の方の強い思いで、4年かけて第一回の開催にこぎつけたこの大会は、地域に根づいた素晴らしいものになっていると思う」と話していました。大会当日の様子はYouTubeにて配信中です！皆様ぜひ子どもたちの雄姿をご覧ください。

回覧																		

古紙を再利用した紙を使っています。